

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成21年1月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成20年12月分(平成20年12月1日～12月28日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,714	3.73	2.61	↑	10	百日咳	19	0.07	0.02	↘
2	RSウイルス感染症	504	1.75	1.35	→	11	ヘルパンギーナ	7	0.02	0.05	
3	咽頭結膜熱	95	0.33	0.42	↗	12	流行性耳下腺炎	80	0.28	0.97	↗
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	445	1.55	1.33	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
5	感染性胃腸炎	4,716	16.38	14.77	↑	14	流行性角結膜炎	35	0.46	0.91	↘
6	水痘	648	2.25	2.47	↗	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
7	手足口病	36	0.13	0.17	↘	16	無菌性髄膜炎	2	0.02	0.05	
8	伝染性紅斑	52	0.18	0.17	↗	17	マイコプラズマ肺炎	20	0.24	0.37	↗
9	突発性発しん	157	0.55	0.63	↗	18	クラミジア肺炎	1	0.01	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成20年12月分(12月1日～12月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	55	2.39	1.78	↗	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	106	5.05	5.31	↗
20	性器ヘルペスウイルス感染症	18	0.78	0.57	↗	24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	35	1.67	2.70	↘
21	尖圭コンジローマ	12	0.52	0.48	↗	25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.19	
22	淋菌感染症	16	0.70	0.68	↘						

「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)
報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

急増疾患 インフルエンザ(265件 1714件)
急増疾患 感染性胃腸炎(1294件 4716件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13,14	19～22	15～18,23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	56	結核〔広島市保健所(20),福山市保健所(5),呉市保健所(7),広島地域保健所(8),東広島地域保健所(8),尾三地域保健所(5),福山地域保健所(2),備北地域保健所(1)〕
三類	7	腸管出血性大腸菌感染症(O157)(3)〔広島市保健所(2),尾三地域保健所(1)〕, (O103)(3)〔福山市保健所〕,(O111)(1)〔広島市保健所〕
四類	3	レジオネラ症(2)〔広島市保健所〕, つつが虫病(1)〔広島市保健所〕
五類全数	11	ウイルス性肝炎(B型)(2)〔広島市保健所〕,後天性免疫不全症候群(2)〔広島市保健所〕, 麻しん(2),〔東広島地域保健所〕,クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所〕 風しん(1)〔福山地域保健所〕,バンコマイシン耐性腸球菌感染症(1)〔福山市保健所〕 アメーバ赤痢(2)〔広島市保健所,尾三地域保健所〕

3 一般情報

(1) インフルエンザの流行状況について

平成21年第3週(1月12日～1月18日)の県内の定点医療機関からの患者報告数が,県内4箇所(福山市,福山地域,尾三地域,備北地域)の保健所管内で国立感染症研究所感染症情報センターが示している警報の基準(定点当たり30)を上回りました。1月に入り集団かぜによる学級閉鎖等の報告も相次いでおり,県内全域でインフルエンザの流行が本格的になっていますので,感染予防を心がけましょう。

1月17日には東京都内の病院でインフルエンザの集団感染による死者が出る事案も起こっています。高齢者等が多く入所している施設等においては,感染予防対策を徹底するよう心がけましょう。

予防方法

- ・ 流行シーズンに入る前に予防接種を受けましょう。
- ・ 外出時には,マスクを着用し人ごみはなるべく避けましょう。
- ・ 外出先から帰宅したら,うがいと手洗いを励行しましょう。
- ・ 栄養バランスのとれた食事をとり,体調を整えましょう。
- ・ 室内は,加湿器などを使って,適度な湿度を保ちましょう。

あ,その咳,そのくしゃみ
～咳エチケットですか～

平成20年度厚生労働省
インフルエンザ総合対策標語

「咳エチケット」とは?

咳,くしゃみが出たら他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。
マスクを持っていない場合は,ティッシュなどで口と鼻を覆い,他の人から顔をそむけましょう。
鼻汁,痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
咳をしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

(2) タミフル耐性インフルエンザウイルス調査(中間報告)について

平成21年1月16日,厚生労働省はタミフル耐性のインフルエンザウイルスについて中間報告(1月8日時点)を公表しました。感染症発生動向調査により地方衛生研究所が検査したインフルエンザウイルス(H1N1)から抽出し,国立感染症研究所が詳しく検査をした35件のうち,34件からタミフル耐性ウイルスが検出されました。

34件のうち,5件は11月中旬に広島県内の医療機関で採取されたものです。広島県では,引き続き,県内各地域で流行しているインフルエンザウイルスの型を調査し,感染症発生動向調査月報(本報告別表のウイルス検出情報)で公表する他,HP等で公表することとしています。

タミフル耐性ウイルスの検出情報は国立感染症研究所のHP(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/index-kv.html>)に随時掲載されますので,ご覧ください。

〔参考〕広島県総合技術研究所保健環境センター・広島市衛生検査所でのインフルエンザウイルス検出状況(H21.1.11現在)

	Aソ連(H1N1)型	A香港(H3N2)型	B型
11月	8件〔尾三地域,東広島地域〕	0件	0件
12月	12件〔広島市,東広島地域〕	14件〔広島市,福山市,広島地域,東広島地域〕	0件
1月	10件〔広島市〕	3件〔広島市〕	1件〔尾三地域〕

(3) ノロウイルス等による感染性胃腸炎について

感染性胃腸炎の患者報告数が11月1,294人から12月4,716人と急増しており,1月も18日までの3週間で2,183人の患者が報告されています。社会福祉施設でのノロウイルス等による感染性胃腸炎の集団発生の報告も多くなっており,引き続き注意が必要です。

感染予防対策

食品の取扱い
手洗いの励行
嘔吐物等処理

食品は衛生的に取り扱い,十分に加熱調理しましょう。
帰宅時,トイレの後,調理の前,食事の前に,必ず石けんで手を洗いましょう。
嘔吐したもの,便で汚れたものには,直接素手で触れず,手袋を使って処理し,汚染箇所は次亜塩素酸ナトリウムで消毒しましょう。

入浴

下痢のある時は,シャワーだけにするか,入浴する順番を最後にし,お尻は石けんをつけて,ていねいに洗いましょう。

その他

吐いたり,下痢症状がある時には,他の人とタオルなどを共用しないようにしましょう。